



## SDGs経営簡易診断サービス

NEW

2023年度  
896件の申込み

※2023年3月末時点

建設事業者の皆さま

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

### SDGs経営に 取り組んでみませんか？

#### SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは？

SDGs (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



#### SDGs経営とは？

SDGs経営とは、SDGsの理念を経営に取り入れ、持続可能な経営の実現を目指すものです。不確実な時代とも言われる今、未来への羅針盤として、SDGsは「100年企業」を目指す経営者に注目されています。また ESG 投資の潮流を受け、「取引先の行動指針」等でバリューチェーンにある事業者にもSDGsの取組みを求める元請企業もあり、今後、SDGs経営の重要性が増してくるものと考えます。

#### SDGs経営について、このような疑問や悩みをお持ちではありませんか？

SDGs経営って難しそう・・・

何から始めていいのかわからない・・・  
自治体SDGs登録で相談したい

他企業の取組み事例を知りたい・・・  
公共工事への影響は？

SDGs経営に取り組みたい法人様をご支援します！

まずは「SDGs経営簡易診断サービス」をご利用ください！

無料

SDGs経営簡易診断結果報告書  
SDGsの取り組み状況を確認します

+

無料オンライン面談サービス

経営簡易診断サービス受診企業特典 (取組事例 / 予約制) ※  
※サービス利用については詳細な説明にご参加ください。

1. 自治体企業登録制度申請アシストサービス
2. SDGs宣言書作成支援サービス

サービス利用をご希望の場合は、裏面の申込書・チェックシートをご提出ください。

POINT  
1

### 「SDGs診断」の実施 無料オンライン面談

チェックシートを用いて、SDGsへの取り組み状況を診断します。診断結果をレポートにまとめ、オンライン面談を通して直接フィードバックいたします。

POINT  
3

### 「SDGs宣言」 策定サポート

診断結果やヒアリング情報を踏まえ、お客様独自の「SDGs宣言」の策定をお手伝いいたします。

POINT  
2

### 「自治体への登録制度」の 申請書作成支援

自治体が運営するSDGs企業登録制度などの申請書作成を支援します。

※自治体や社団等の登録をお約束するものではありません。

地域の事業者のみなさまのSDGsアクションをサポート

## 2. 個別コンサル (紹介メニュー・有償)



### 実績あるSDGsコミュニケーターによる個別コンサルのご紹介

#### 中島 達朗 (なかじま たつろう) 氏

株式会社ふるサポ代表取締役

SDGsコンサルタント/一般社団法人SDGs活動支援センター事業パートナー

損害保険会社で本社部長や支店長を経て理事、関連会社社長を経験。

経営企画部で地方創生プロジェクトを担当した後、社内ベンチャー支援制度で「ふるさと納税×SDGs」の運営サイトである「ふるサポプレゼンツ」を立ち上げ起業独立。

地方創生支援と中小企業におけるSDGsの啓発事業に取り組む。企業や自治体での講演実績多数。

- ・経営学修士 (MBA)
- ・早稲田大学トランスナショナルHRM研修所招聘研究員
- ・地方創生官民連携プラットフォーム企業版ふるさと納税分科会メンバー
- ・環境省地球温暖化コミュニケーター

Furusapo 





テレマティクス技術を活用した

## 安全運転/エコドライブ推進イベント [テレマタグイベント]



### 地域住民・企業等とともに、交通安全やカーボンニュートラルを推進

- 当社が貸与する専用車載器（タグ）と専用アプリ「Visual Drive」を用いた、交通安全・エコドライブイベントを開催可能です。
- 当イベントにより、参加する企業・団体等が一体となったSDGsゴール（Goal3、11、13等）達成に向けた取組が可能です。



### Visual Driveとは？

- テレマティクス技術を搭載したタグとスマートフォンを連動させて走行データを取得し、安全運転スコアを提供するスマートフォン専用アプリ
- 運転終了後、すぐに運転状況のフィードバックが可能

項目	内容
フィードバック	運転スコア・ランキング・危険挙動発生の時間と場所の特定
取得データ	走行ルート・危険挙動発生箇所（急ブレーキ、急アクセル等）

### 取組のすすめ方

- 一定期間、イベントに参加する企業・団体等にタグ・アプリを貸し出します。
- 運転状況が診断されるなど、楽しみながらイベントに参加していただけます



- イベント後、取得データに基づき、危険挙動発生箇所等を表示したマップを提供。地域の交通安全対策検討などに活用いただけます。



### ポイント

#### STEP1：タグを用いた交通安全・エコドライブイベント開催

新しい技術を使った「安全運転」「エコドライブ」の推進方法について地域企業・団体や住民の皆様に体験いただくイベントを開催します。

- 【期間】原則1か月 【タグ費用】無料 【タグ貸出上限】300個
- 【参加者】個人、個人グループ、法人グループ等
- 【対象】

- ・自動車免許所有およびスマートフォン（スペック条件あり）を持っている方
- ・イベントで使用する四輪車両を限定できる方



#### STEP2：収集されたビッグデータの活用

- 当イベントで収集した走行データや弊社契約者データの**運転挙動データを地図上に表示し提供します（交通安全マップ）**。
- **急ブレーキ多発等の危険箇所を把握**でき、交通安全対策の検討や小中学生への交通安全教育など、様々な場面で活用できます。
- また、**走行軌跡や走行量の把握も可能**なため、地域交通の再編の検討等、持続可能なまちづくりに活用できます。

# CO<sub>2</sub>排出削減量可視化サービス



「安全運転によって削減できたCO<sub>2</sub>排出量※」を可視化し、地域のカーボンニュートラルを推進

- ・ テレマタグイベントにおいて、安全運転によって節約できた「燃料消費量」や「CO<sub>2</sub>削減量」を推計し、参加者に提供します。
- ・ また、参加者全体での「CO<sub>2</sub>削減量」等をまとめたレポートを自治体の皆さまに提供します。

※弊社独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性がございます。あくまで「参考数値」としてご確認ください。

## 参加者ごとに「安全運転によるCO<sub>2</sub>削減量」を提供

- 独自のロジックにより、自動車走行データから「安全運転によるCO<sub>2</sub>削減量」を推定し専用アプリ上で表示
- 過去1か月間の削減量を表示することで、環境的観点・経済的観点からもドライバーの安全運転を後押し

### アプリの概要

弊社独自のロジックにより、「安全運転を行ったことによって、標準的な走行による燃費と比較してどれだけCO<sub>2</sub>排出量を削減できたか」を算出し、専用アプリ上で表示します（過去1か月間の削減量）

削減できたCO<sub>2</sub>量がイメージし易くなるよう、「スギの木●●本が1年間で吸収する量」に例えて表示します。

節約できたガソリン消費量も併せて表示することにより、環境的観点・経済的観点からも安全運転を後押しします。



※ガソリン車、ハイブリッド車、ディーゼル車が対象であり、電気自動車は対象外です

## 自治体の皆さまに参加者全員分の合計レポートを提供

イベント参加者全台分の合計レポートを自治体の皆さまにご提供



参加者全台分の「燃料総使用量」・「安全運転によって節約できた燃料消費量」  
「CO<sub>2</sub>の総排出量」・「安全運転によって削減できたCO<sub>2</sub>量」の合計値を表示

※本サービス利用にあたっては、「①参加募集時に各参加者の車種/型式の情報を弊社が取得すること」「②各参加者が加入する自動車保険の情報を弊社が取得すること」に同意いただく必要があります。

- Bizセイフティにご関心のある事業者さまを対象に、車載器と専用アプリを無料でお試し頂ける「Bizセイフティ無料お試し版」をご提供します。（一部機能に限定）
- 無料体験を希望の場合、扱い代理店・当社営業担当者までお申し付けください。

無料  
お試し版

車載器



専用アプリ



管理者向けCO2レポート



期間	1か月間（毎月1日～末日までの1か月間です。月中開始はできません。）
台数	1台～5台
提供サービス	<p>【ドライバー向け】車載器・専用アプリ（安全運転診断・CO2削減量の可視化）</p> <p>【管理者向け】安全運転等によるCO2排出削減量の月間レポート</p> <p>※管理者ポータル・運行レポートは無料体験版では利用できません。</p>

※5台以上のお試しをご希望の場合は、別途有料のお試しプランもご用意がございますのでご相談下さい。

## Visual Driveの特徴

- タグと連動させることにより、手振れなどスマートフォン方式の弱点を克服
- ゲーム感覚で利用者が使いたくなる仕組み

### 安全運転診断

#### 運転終了後、すぐに利用者へ運転状況をフィードバック

- ・ 走行毎のスコアリング+急ブレーキ、速度超過運転中のスマートフォン使用データ等を診断
- ・ 利用者の運転状況にあった安全運転のヒントをご提供

### 楽しく

#### スコアランキングやバッジ獲得でゲーム感覚を演出

- ・ 参加者の一体感を生み出すグルーピング機能
- ・ スコアランキング上位者への特典による盛り上げを演出

### 手軽に

#### 専用タグとスマホだけで利用者の走行データを診断

- ・ ダッシュボードへの専用タグ張り付けとスマホが車中になれば利用可能

地域の皆さまに『楽しみながら客観的に』  
安全運転技術の確認ができる絶好の機会を提供します！



#### 安全運転診断

- ▽ 過去2週間の走行を累計で得点化
- ▽ ランキングで利用者 と他の参加者の比較もできます



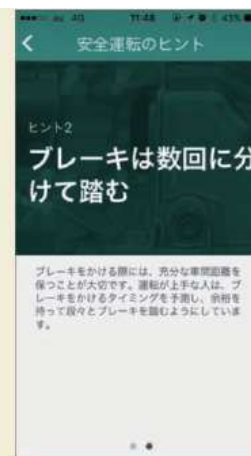
#### バッジ獲得

- ▽ 運転特性に応じたバッジを獲得できるので、利用者の運転の得意・不得意がわかります



#### 安全運転のヒント

- ▽ 利用者にあった運転アドバイスを提供します



- ①手間なし：アプリのOn/Off不要
- ②スマートフォンは車中のどこにあってもOK
- ③手振れの心配なし
- ④省バッテリー/省データ：一括データ送信

インストールマニュアル  
を用意しています

## ご利用イメージ

スマートフォンと車載器（タグ）がBluetooth接続されると、Visual Driveは自動的に運転記録を開始します。

スマートフォン



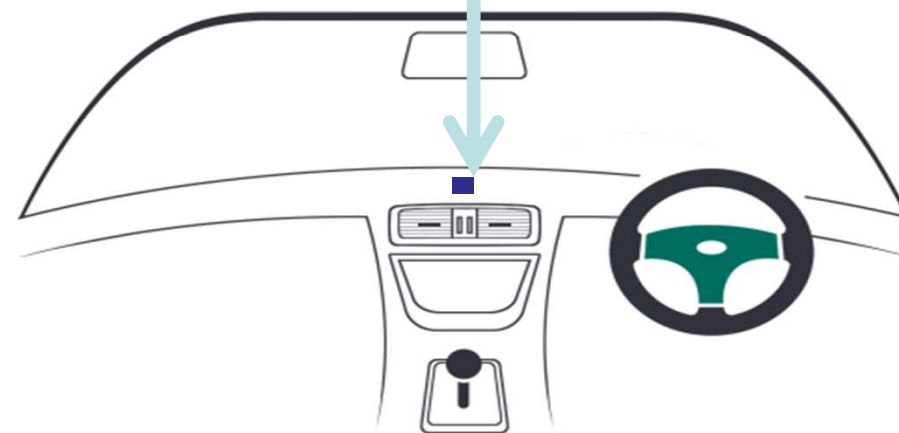
Bluetooth



車載器（タグ）



【5cm x 5cm】



車両のダッシュボード

- **機能：加速度センサー**
  - ・ 記録媒体（40時間分の走行データを保存可）
  - ・ Bluetooth省電力チップ
  - ・ マイクロチップ リチウムバッテリー（4年）
- **裏に両面テープが張っており、誰でも簡単に取付可能**

**特徴①**： テレマティクス交通安全マップを道路環境改善などのまちづくりに活用できます！

- テレマティクス交通安全マップは、イベントにより収集したデータに基づき、危険挙動箇所を地図上にプロットしてご提供します
- 急ブレーキ多発地点など危険箇所を把握し、道路環境を改善するなどの交通安全対策への活用が可能です

## イメージ

## 運転操作に関して取得したデータを地図上にプロット



## 運転操作に関して取得できる 主なデータ

### <取得データの例>

急ブレーキ

急ハンドル

急加速

スマホ使用

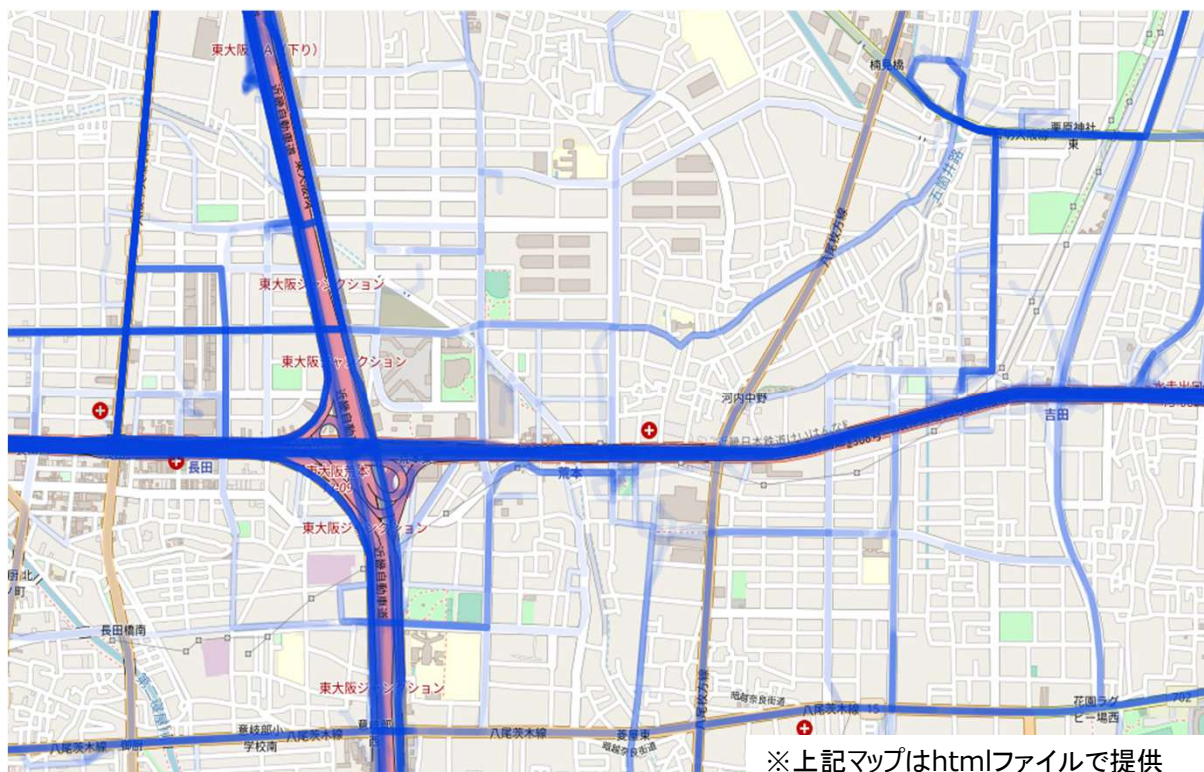
速度超過

## 特徴②： 走行量ヒートマップを地域における次世代モビリティ導入に向けた調査等に活用できます！

- イベントにより収集した走行量データや走行ルートデータに基づき、地図上にヒートマップ形式で表示してご提供します
- 路線バスやオンデマンドモビリティなど走行ルート・ダイヤの検討など、地域交通の再編にも活用が可能です

### イメージ

色の濃さによって交通量を可視化  
運転操作に関するデータとの同時表示も可能



### 取得できる 主なデータ

<取得データの例>

走行量

走行ルート

出発地点

到着地点



## 『冬のDigi田甲子園』で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞

～福井県・福井県警察と取り組んだ

「デジタル（テレマティクス技術）を活用した新たな交通安全対策」～

### Digi田甲子園とは？

- デジタルの活用によって地域の個別課題を実際に解決した企業・団体等の事例を募集し、最も優れた事例を『**内閣総理大臣賞**』として表彰する制度
- 令和4年度に創設された制度で、夏は地方自治体、冬は民間企業・団体等を対象に開催
- 令和4年度、あいおいニッセイ同和損保は「冬のDigi田甲子園」において、**172件の応募の中で見事優勝を勝ち取り、岸田文雄内閣総理大臣より表彰を受けました。**

### 福井県・福井県警との取組み

- 弊社のテレマティクス技術により県内ドライバー（454名）の運転データを取得し、危険運転発生地点を示す「**福井県交通安全マップ**」を作成・公開
- 取得したデータを活用し、事故実績に基づく事後対応ではなく、危険運転エリアに対する**先手先手の対策を行うことで、事故の未然防止を志向**

#### <福井県交通安全マップ>



### 福井県との取組みの動画はこちら



滋賀県

## 県警と交通安全ドライバーズコンテストの開催

- 交通死亡事故増加率ワーストからの脱却に向け、滋賀県警と連携し、安全レベルの順位を競う「**交通安全ドライバーズコンテスト**」を開催
- 交通安全ドライバーズコンテスト実施後は、コンテスト期間中に感知したデータを活用して、交通事故レッドゾーン、急ブレーキ、急ハンドルの箇所を反映したオリジナル交通安全MAPを参加者に配布、交通安全啓蒙活動に活用

参加者

県内事業所18社から200名が参加

開催期間

2019年11月から、2か月間



～ 県警本部で行った「出発式」の様子～

佐賀県

## セーフティドライバーコンテストの開催

- 2018年に締結した佐賀県との包括連携協定に基づき、県内の交通事故低減を目的に「**セーフティドライバーコンテスト**」を開催
- 当コンテストで取得した運転挙動データで作成したオリジナル交通安全MAPを提供し、今後、通学路の選定、標識の設置等といった交通行政に活用
- 県担当者より、「セーフティドライブコンテストは大変盛り上がり、県としても大変喜んでおります。今年度もぜひ企画をしてほしい。」という声や、警察関係者からも「県内の交通事故抑止のために効果的なイベントだと思います。次回は県内の市町と共同して取組みを進めることができればと思います。」というお声をいただきました。

参加者

県内事業所 212チーム・1014名が参加

開催期間

2021年10月から、1か月間

沖縄県では宮古島市でエコドライブコンテストを実施しています！



## イベント開催の流れ

### ① イベント実施内容を確定

- タグ必要数(参加者数)・開催時期  
→ 弊社にてタグとグループIDを準備しイベント開催前に提供
- 説明会・表彰式の開催時期
- 表彰内容・記念品の配布  
→ 参加者の表彰方法(個人戦・グループ対抗戦等)を確定

### ② 参加者募集/参加受付

- ちらしの作成  
→ ひな型に沿って集客用のちらしを作成
- 必要事項  
お名前・連絡先・チーム名
- 集客スタート

### ③ 説明会+イベント開催

- 説明会にてタグ貸出・グループID配布
- 参加者管理簿の作成
- イベント開催期間中は参加者が各自で安全運転・エコドライブに取組み
  - ・ プッシュ通知機能で月1回~2回程度、弊社から参加者全員へ情報発信
  - ・ 弊社から地方公共団体様へ途中経過を提供(HP等で参加者へ周知)

### ④ 結果発表閉会式

- 上位者への表彰
- タグ回収

### ⑤ イベント終了

- 全てのタグを回収し、弊社にまとめて返送

### グループイメージ

● チーム「あいおい」 ● チーム「タッフィー」

● チーム「ハッピー」 ● チーム「AD」  
※同じ1台の車を使う

(例) 1チームあたり5人、4チーム作る場合

#### <グループID>

グループ数に応じて、IDは4つ発行します。グループ毎に点数が集計されます

#### <タグ貸出>

16個貸し出します。グループで1つの車に乗る場合は、そのグループには1個貸し出します

チーム戦はチーム名をつけると結果が分かりやすく盛り上がります！

### プッシュ通知機能について

イベント開催中に参加者へ情報発信が可能(2週間に一回~)

#### ポイント

- イベントの途中経過
- 安全運転のポイントなど参加者に伝えたいメッセージを発信できます！



※途中経過は2週間ごとに主催者に連携

### 返却時のご留意点

- 貸し出し個数と一致しているかご確認をお願いします。
- ご使用済みのタグに付いている装置貼付用シールを剥がしていただきますようご協力をお願いします。
- 貸し出しの際にタグが入っていた箱は捨てずにお戻しく下さい。

立ちどまらない保険。

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

## News Release

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

[www.aioinissaydowa.co.jp](http://www.aioinissaydowa.co.jp)



まだ誰も知らない安心を、ともに。

### 「J-クレジット事業者支援保険(自治体向け)」を販売

2021年10月29日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三）は、カーボン・オフセットの手法の一つとして活用されている J-クレジット制度において、自治体が主体となって実施するプロジェクトに関わるリスクを補償する「J-クレジット事業者支援保険（自治体向け）」を10月から販売します。

本保険は、プロジェクトに参加する自治体の地域住民が所有する太陽光発電設備等の故障・破損等について自治体が修理・交換する補償制度をバックアップするもので、自治体は修理費用等をあらかじめ保険料として予算化できるため、安定した制度運営が可能となります。

#### 1. 開発の背景

自治体においては地域全体の脱炭素活動を目的として、J-クレジット制度を活用したプログラム型<sup>※</sup>のプロジェクトが普及しつつあります。地域住民が所有する太陽光発電設備等が故障した際に修理・交換する補償制度を提供することは、プロジェクトを安定的に運営するための重要な要素のひとつです。

一方、自治体にとっては補償制度運営にかかる費用が予想できない、修理の受付・査定業務の運営に不安があるという理由により制度構築ができないケースがあります。こうした背景から、これらのリスクや課題を解決すべく、本保険を開発しました。

※家庭の屋根に設置された太陽光発電設備等、複数の削減活動を取りまとめ1つのプロジェクトとして登録する形態

MS&amp;AD あいおいニッセイ同和損保

## News Release

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

### 【国内初】「PPA事業者向け保険パッケージ」の提供を開始 ～再生可能エネルギーの導入拡大を支援し、カーボンニュートラルの達成に貢献～

2022年11月1日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の調達方法の1つとして導入が進む「PPAモデル<sup>※1</sup>」の普及促進を目的に、発電設備の損壊リスクだけではなく、損壊に起因する再エネや環境価値の代替調達リスクも補償する「PPA事業者向け保険パッケージ」の提供を11月4日より開始します。

※1 Power Purchase Agreement の略で、再エネを導入する企業等の需要家と発電事業者の間で契約する電力購入契約

#### 1. 背景

近年、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが進み、再エネを用いた事業運営が求められるなか、自治体や企業等の再エネ需要家が保有する施設の屋根や遊休地に発電事業者（以下、PPA事業者）が太陽光発電設備を設置し、発電された電力を需要家に供給する「PPAモデル」が注目されています。「PPAモデル」は、需要家にとっては、太陽光発電設備を初期費用なしで設置し、独占して安価に再エネを確保できるメリットがあるため、自治体や企業を中心に導入が拡大しています。

一方、「PPAモデル」では、太陽光発電設備を設置し再エネを作るPPA事業者やそれを使う需要家の他にも、融資を行う金融機関や、実際に電力を需要家に販売する小売電気事業者など、複数のステークホルダーが存在し、契約期間も長期に渡ることから、自然災害による設備の損壊リスクや、設備の損壊により再エネが提供できなくなった際の代替調達リスク等、様々な運営上のリスクが存在します。